



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 東プレ株式会社
コード番号 5975 URL <https://www.topre.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山本 豊
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 野田 貴之
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3271-0711

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	79,344	39.5	3,155		12,475	30.7	9,080	70.8
2023年3月期第1四半期	56,886	5.7	958		9,548	188.0	5,315	182.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 13,842百万円 (48.1%) 2023年3月期第1四半期 9,349百万円 (360.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	172.98	
2023年3月期第1四半期	101.30	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	353,593	207,320	57.6	3,883.13
2023年3月期	339,376	194,551	56.3	3,640.37

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 203,840百万円 2023年3月期 191,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		10.00		20.00	30.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	150,000	15.7	4,000	1,816.8	7,000	57.8	4,500	54.9	85.72
通期	310,000	6.7	11,000	50.0	14,000	15.2	9,000	10.1	171.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	54,021,824 株	2023年3月期	54,021,824 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,527,924 株	2023年3月期	1,527,923 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	52,493,901 株	2023年3月期1Q	52,470,443 株

当社は、2017年3月期第2四半期会計期間より、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	13
3. その他	
(継続企業の前提に関する重要事象等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高793億4千4百万円、前年同期比224億5千7百万円の増収(39.5%増)、営業利益31億5千5百万円(前年同期は営業損失9億5千8百万円)となりました。経常利益は、124億7千5百万円、前年同期比29億2千7百万円の増益(30.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、90億8千万円、前年同期比37億6千4百万円の増益(70.8%増)となりました。

②事業セグメント別の状況

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の業績管理区分の一部見直しに伴い、従来「プレス関連製品事業」及び「定温物流関連事業」に含めていた輸送事業の業績は「その他」に含めており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

<プレス関連製品事業>

プレス関連製品事業におきましては、半導体不足の影響が緩和し、国内や北米において、前年同期より物量が増加しました。これによりプレス関連製品事業全体での売上高は、658億1千6百万円、前年同期比201億3千9百万円の増収(44.1%増)となりました。利益面では、中国において、物量減少の影響を受けたものの、プレス関連製品事業全体では物量の増加により、セグメント利益(営業利益)は、21億7千6百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)14億8千2百万円)となりました。

<定温物流関連事業>

定温物流関連事業におきましては、冷凍車部門において、部材不足や主要取引先企業におけるシャーン出荷停止の影響が緩和したことにより、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。その結果、定温物流関連事業全体での売上高は、99億3千7百万円、前年同期比24億7千5百万円の増収(33.2%増)となりました。セグメント利益(営業利益)は、6億3千1百万円、前年同期比4億2千3百万円の増益(204.0%増)となりました。

<その他>

空調機器部門におきましては、半導体業界向け産業用送風機の受注追加や、材料価格高騰について、価格転嫁に一定の理解を得ることができたことなどにより、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。電子機器部門におきましては、キーボード「REALFORCE」において、新機種立上げや SNS を通じた販売促進を行ったことにより販売台数が増加しましたが、タッチパネル応用製品の販売が落ち込んだことなどから、売上、営業利益ともに前年同期並みとなりました。輸送事業におきましては、売上、営業利益ともに前年同期を下回りました。その結果、その他の事業全体での売上高は、35 億 8 千 9 百万円、前年同期比 1 億 5 千 7 百万円の減収 (4.2% 減) となりました。セグメント利益 (営業利益) は、3 億 4 千 6 百万円、前年同期比 4 千 9 百万円の増益 (16.7% 増) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

流動資産は、主に現金及び預金の増加などにより、1,524 億 7 千 3 百万円となりました。

固定資産は、主に有形固定資産の増加などにより、2,011 億 2 千万円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ 142 億 1 千 7 百万円増加の 3,535 億 9 千 3 百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、主に支払手形及び買掛金の増加などにより、1,018 億 9 千 7 百万円となりました。

固定負債は、主に長期借入金の減少により、443 億 7 千 5 百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ 14 億 4 千 8 百万円増加の 1,462 億 7 千 2 百万円となりました。

(純資産の部)

主に利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ 127 億 6 千 8 百万円増加の 2,073 億 2 千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表しております「業績予想及び営業外収益(為替差益)の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,873	54,535
受取手形及び売掛金	59,830	55,664
有価証券	50	50
棚卸資産	27,446	31,314
その他	10,399	10,909
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	147,598	152,473
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	58,788	61,551
機械装置及び運搬具（純額）	63,493	66,363
建設仮勘定	10,051	10,381
その他（純額）	26,752	27,350
有形固定資産合計	159,085	165,647
無形固定資産	4,503	4,609
投資その他の資産		
投資有価証券	15,773	17,302
その他	12,461	13,617
貸倒引当金	△46	△56
投資その他の資産合計	28,187	30,863
固定資産合計	191,777	201,120
資産合計	339,376	353,593

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,303	62,009
短期借入金	2,500	2,500
1年内返済予定の長期借入金	16,417	14,511
未払法人税等	4,254	2,096
賞与引当金	2,352	1,126
役員賞与引当金	56	12
製品保証引当金	170	168
その他	16,263	19,474
流動負債合計	100,318	101,897
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	7,384	6,693
長期未払金	29	24
繰延税金負債	5,371	5,860
P C B 処理引当金	41	41
役員株式給付引当金	44	54
退職給付に係る負債	225	257
その他	1,409	1,443
固定負債合計	44,505	44,375
負債合計	144,824	146,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,610	5,610
資本剰余金	4,735	4,735
利益剰余金	164,730	172,759
自己株式	△1,082	△1,082
株主資本合計	173,993	182,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,218	5,198
為替換算調整勘定	12,509	16,247
退職給付に係る調整累計額	375	371
その他の包括利益累計額合計	17,103	21,818
非支配株主持分	3,454	3,480
純資産合計	194,551	207,320
負債純資産合計	339,376	353,593

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	56,886	79,344
売上原価	53,796	72,055
売上総利益	3,089	7,289
販売費及び一般管理費	4,047	4,133
営業利益又は営業損失(△)	△958	3,155
営業外収益		
受取利息	57	195
受取配当金	252	248
有価証券売却益	10	—
固定資産賃貸料	15	14
貸倒引当金戻入額	9	0
為替差益	10,146	8,785
助成金収入	84	76
持分法による投資利益	87	—
その他	26	69
営業外収益合計	10,690	9,390
営業外費用		
支払利息	51	33
社債利息	14	14
固定資産賃貸費用	0	1
貸倒引当金繰入額	—	10
持分法による投資損失	—	3
外国源泉税	48	—
休業手当	61	—
その他	7	7
営業外費用合計	183	69
経常利益	9,548	12,475
特別利益		
固定資産売却益	9	11
投資有価証券売却益	8	—
その他	5	0
特別利益合計	23	11
特別損失		
固定資産除却損	1,140	119
投資有価証券売却損	—	6
その他	0	0
特別損失合計	1,141	126
税金等調整前四半期純利益	8,430	12,360
法人税、住民税及び事業税	2,850	3,554
法人税等調整額	259	△311
法人税等合計	3,110	3,243
四半期純利益	5,320	9,117
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	37
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,315	9,080

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	5,320	9,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	988
為替換算調整勘定	3,779	3,670
退職給付に係る調整額	13	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	212	68
その他の包括利益合計	4,029	4,725
四半期包括利益	9,349	13,842
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,310	13,794
非支配株主に係る四半期包括利益	39	47

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症による影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(連結子会社の解散決議)

当社は、2022年8月24日の取締役会において、当社の連結子会社であるPT. Topre Indonesia Autopartsを解散及び清算することを決議いたしました。

1. 解散及び清算の理由

PT. Topre Indonesia Autopartsは、2019年3月の会社設立以降、用地を取得し、主要メーカーへの受注に向けて準備を進めてまいりました。しかしながら、さまざまな環境の変化があり、将来的に事業化は困難ということから、当社グループの経営資源の選択と集中を目的として解散および清算を決議いたしました。

2. 解散する連結子会社の概要

- (1) 社 名 : PT. Topre Indonesia Autoparts
- (2) 所 在 地 : Ruko Notheredame Blok C No. 02 Kota Deltamas Desa
Sukamahi, Kecamatan Cikarang Pusat Kabupaten Bekasi.
Jawa Barat 17530 Indonesia
- (3) 代 表 者 : 秋吉 一人
- (4) 事 業 内 容 : 自動車用プレス部品の製造及び販売
- (5) 資 本 金 : \$13,640,000 (当社100%出資)
- (6) 設 立 年 月 : 2019年3月
- (7) 大株主 及び 持株比率 : 東プレ株式会社100%

3. 解散および清算の日程

現地の法律に従い必要な手続きが完了次第、清算終了の予定ですが、具体的な日程は現時点で未定です。

4. 今後の見通し

本解散および清算による2024年3月期の連結業績への影響は軽微であります。

5. 当該清算による営業活動等への影響

当該連結子会社の清算に伴う営業活動等への影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プレス関連 製品事業	定温物流関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	45,677	7,461	53,139	3,747	56,886	—	56,886
セグメント間の内部 売上高又は振替高	312	3	315	248	563	△563	—
計	45,989	7,465	53,454	3,995	57,449	△563	56,886
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△1,482	207	△1,274	297	△977	19	△958

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東邦興産(株)、当社の空調機器事業及び電子機器事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去額・その他の調整額であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プレス関連 製品事業	定温物流関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	65,816	9,937	75,754	3,589	79,344	—	79,344
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	2	286	289	△289	—
計	65,816	9,940	75,757	3,876	79,633	△289	79,344
セグメント利益	2,176	631	2,807	346	3,154	1	3,155

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東邦興産(株)、当社の空調機器事業及び電子機器事業であります。

2. セグメント利益の調整は、セグメント間取引消去額・その他の調整額であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の業績管理区分の一部見直しに伴い、従来「プレス関連製品事業」及び「定温物流関連事業」に含めて表示していた輸送事業の業績は「その他」に含めて表示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

該当事項はありません。